

6年学年だより

太陽

た…誰かに頼らず自分の力で
い…今以上を常に目指す
よ…よく考え、学び
う…生み出す

令和8年2月27日(金)
目黒区立東根小学校
校長 高鍋 恭子
第6学年担任

卒業に向けて

寒さも和らぎ、春の陽射しを感じるようになりました。卒業までの登校日数もあと少しです。校外学習では大きな事故やトラブルもなく、楽しく学習を終えることができ、思い出に残る1日となりました。3月に入ると、いよいよ卒業式に向けて準備や練習が始まります。残りの日々を大切に、心に残る卒業式を迎えられるよう指導していきたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様にはたくさんのご支援、ご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。残りわずかとなりましたが、最後まで見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

3月の学習予定

学習内容			
国語	海の命 今、私は、ぼくは 中学校へつなげよう 他		
社会	地球規模の課題の解決と国際協力	音楽	卒業の気持ちを込めて
算数	中学校への架け橋	図工	卒業制作 人生劇場
理科	かけがえのない地球環境	家庭	持続可能な社会を生きる
体育	ゴール型ゲーム (サッカー、バスケットボール) 保健	外国語	My Future, My Dream
道徳	よりよい学校生活 勤労・公共の精神 真理の探究	総合	感謝の気持ちをあらわそう キャリア教育





○お世話になった方々へ向けて

卒業に向けて、これまでお世話になった方々に向けて感謝の気持ちを手紙に表したいと思います。3月6日（金）までに封筒と便箋を用意し、持たせてください。

○年度末会計について

銀行口座は、返金等の清算手続きがある場合がございますので、令和8年4月末までは、解約なさいませんよう、よろしくお願ひいたします。また、お預かりした教材費余剰分がある場合の返金は口座振込いたします。3月23日（月）に振込予定です。返金額等詳細は、後日配布する決算報告書をご確認ください。

○個人情報書類の返却について

3月23日（月）に、以下の3点を返却します。

- ・保健調査票
- ・児童名ゴム印
- ・通信表

連絡バッグに入れて返却しますので、確認ください。

○保管および返却物について

【中学校まで保管するもの】

青色の「キャリアパスポート」のファイルは中学校でも使用します。（都立・区立の学校対象）ご家庭で保管しておいてください。なお、絵の具セット・リコーダー・書道セット・裁縫セット等につきましても、中学校で引き続き学習用具として必要になりますので、中身を確認し、中学校での使用に備えておいてください。

【返却していただくもの】

卒業に際しまして、目黒区から貸与されている学習用情報端末（iPad）とその他周辺機器（ケース、ACアダプタ、ケーブル、タッチペン）をご返却いただくことになっています。

3月13日（金）・・・ACアダプタ、ケーブル、学習用情報端末、ケース、タッチペン、

破損や故障がないかどうかをご確認のうえ、学校に持って行くようお声掛けください。もし、破損や故障、紛失があった場合には、担任までご連絡いただきますようお願いいたします。

○後期通信表について

6年生は3月23日（月）に後期の通信表をお渡しします。3月24日（火）卒業式への出席を見込んだ出席日数を記載して配付します。もし卒業式欠席等で修正が必要になった場合は、後日学校に持参していただけますよう、よろしくお願ひいたします。



2月の児童の様子

「本気」がぶつかり、「絆」が形になる瞬間

小学校生活最後となる学年レクリエーション。種目は「借り物競走」「チェッコリ玉入れ」「綱引き」「全員リレー」という、彼らがこの6年間で何度も経験してきたお馴染みの競技ばかりです。ふと、「もう何度もやっているけれど、飽きないの?」と問いかけてみました。すると、子どもたちは間髪入れず、晴れやかな笑顔で「全然! 毎回めっちゃくちゃ楽しいもん!」と答えてくれます。その言葉の通り、校庭に整列した彼らの目には、レクリエーションの枠を超えた「本気の炎」が宿っていました。

いざ競技が始まれば、そこはもう真剣勝負の舞台です。何事にも真っ直ぐに、泥臭く、真剣に取り組める。それがこの学年の誇るべき「魅力」です。全力で勝ちをとりいき、全力で悔しがり、そして最後には、自分たちを負かした勝者に惜しめない拍手を送れる。その光景を見て、胸が熱くなりました。勝ち負けの結果以上に、お互いを認め合い、高め合ってきたこの6年間の歳月が、彼らの中に「揺るぎない絆」という目に見えない宝物を作り上げたのだと改めて思わされる時間でした。



「働く」という冒険。一步大人に近づいたキッズニア

小学校生活最後の校外学習の舞台は、キッズニア。「なぜ、人は働かなくてはいけないのか」「お金を稼ぐとは、社会と繋がるとはどういうことか」。そんな人生の大きな問いを、体験を通して学ぶ一日となりました。ゲートをくぐり、ミニチュアながらも本物そっくりの街並みに踏み出した瞬間、子どもたちの表情は一変しました。そこでの動きは、驚くほど個性的で、まるで未来の自分たちを予行演習しているかのようでした。分刻みのスケジュールを自ら組み、次から次へと仕事を予約して「キッツ(専用通貨)」を貯めることに奔走する堅実な努力家もいれば、「腹が減っては戦はできぬ」と、手に入れたフードチケットを早々に使い切り、焼き立てのピザやカレーライスを頬張りながら、今の幸せを噛み締める自由人や、「使うばかりじゃ減る一方だ」と、残高を確認して危機感を感じるやいなや、証券会社へ足を運び「株」の仕組みを学んで資産運用を試みる勝負師まで。

世渡り上手な一面に感心させられることもあれば、あまりに無計画な様子に「将来大丈夫かな?」と、こちらが苦笑いしてしまう場面もありました。しかし、どの姿も愛おしく、そして頼もしいものでした。館内で出会う彼らの手には、誇らしげに掲げられた「免許証」や、自分たちの汗で稼いだ「お札」が握られていました。「先生見て!こんなに稼いだ!」「この仕事、難しかったけど楽しかった!」と報告してくれるその顔は、朝の登校時とはどこか違う、責任ある役割を全うした「大人」の凛々しさを湛えていました。慣れない仕事に戸惑い、思うようにいかず、悔しさやしんどさを感じた瞬間もあったでしょう。しかし、その小さな「苦勞」こそが、日々自分たちを支えてくれている大人たちの背中の重みを知る、何よりの学びです。無邪気にはしゃぐ子どもらしい可愛らしさと、自立に向けて一步を踏み出す力強さ。その両面を、この最後の校外学習で見せてくれた子どもたち。この日の経験が、いつか彼らが本当の社会へ羽ばたくとき、自分を支える大切な「種」になることを、私たちは心から願っています。

